

# 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準

平成23年6月  
島根県

# 目次

I	はじめに	1 頁
II	医療機関の分類基準	2 頁
III	医療機関のリスト	3 頁～13 頁
IV	観察基準	14 頁 (観察基準2別表2 1 頁～24 頁)
V	選定基準	15 頁
VI	伝達基準	16 頁
VII	受入医療機関確保基準	17 頁
VIII	その他基準	18 頁～20 頁

# 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準

## I はじめに

### 1 実施基準策定の背景

平成18年に奈良県で、平成20年に東京都で発生した妊婦の救急搬送事案（妊婦死亡）など、救急搬送において受入医療機関の選定に時間を要する事案が全国各地で発生、社会問題化した。

こうした状況を受け、傷病者の搬送及び医療機関による受入れをより適切かつ円滑に行うため、都道府県において実施基準を作成することが、「消防法の一部を改正する法律」（平成21年5月1日交付、同年10月30日施行）により定められた。

### 2 島根県における傷病者の搬送及び医療機関の受入れの状況

平成21年の救急搬送について国が実施した医療機関の受入状況等実態調査によると、消防機関から医療機関への重症以上傷病者の受け入れ照会回数が4回以上の割合は0.04%（全国平均3.2%）、重症以上傷病者の現場滞在時間が30分以上の割合は1.5%（全国平均4.3%）であり、大都市等で発生している病院選定困難事案は発生していない。

この結果は、搬送先医療機関数が大都市等と比べ少ないことも一因であるが、医師不足など厳しい状況下における各医療機関及び医師の尽力、日々の救急活動、症例検討会、病院実習等を通じてこれまで築かれてきた医療機関と消防機関及び病院間の連携によるところが大きい。

### 3 実施基準策定にあたっての基本的な考え方

- (1) 本県においては、厳しい医療環境にありながら、大都市等で発生している病院選定困難事案が発生していない状況を踏まえ、これまで培われてきた医療機関と消防機関の連携体制を尊重する。
- (2) 本実施基準は、現在の限られた医療資源の中で、重篤・重症（以下「重症以上」という。）傷病者の救命、後遺症の軽減の観点から、重症以上傷病者の症状等に応じ、転院搬送を念頭においた応急的初期治療も含め、対応可能な病院へ速やかに救急搬送が行われることを目的とする。
- (3) 消防法第35条の5第2項第2号の医療機関リストは、消防機関が使用することを目的に作成するものである。

## II 医療機関の分類基準(消防法第35条の5第2項第1号)

救急隊員は救急現場において、エックス線撮影やエコー検査、血液検査などを実施できないことから、傷病者の状態に適応した医療機関を選定することとなるため、分類にあたっては、心疾患、脳血管障害等の疾患別ではなく、次表の症状等で分類する。

症状等分類	
①外傷	※重症度・緊急度が高いもの
②熱傷	
③中毒	
④意識障害	
⑤胸痛	
⑥呼吸困難	
⑦消化管出血	
⑧腹痛	
⑨乳幼児	
⑩周産期	
⑪脳卒中疑い	
⑫重篤	

※重症度とは、患者の生命予後又は機能予後を示す概念、緊急度とはその重症度を時間的に規定した概念。

重症	<p>生命の危険の可能性があるもの。</p> <p>IV「観察基準」2別表「重症度緊急度判断指標」により各症状毎に重症度判断項目に該当し重症以上と判断されるもののうち「死亡」及び「重篤」を除いたもの。</p>
重篤	<p>生命の危機が切迫しているもの。</p> <p>①心・呼吸の「停止」又は「停止のおそれ」があるもの。</p> <p>②「心肺蘇生」をおこなったもの。</p>

### Ⅲ 医療機関のリスト（消防法第35条の5第2項第2号）

本リストは、分類基準に基づく分類(症状等)ごとの重症以上傷病者について、救急隊が医療機関へ搬送の照会を行う際に使用するものである。

#### －留意事項－

- 1 症状等分類ごとに掲載する医療機関は、重症以上の傷病者に対して、転院搬送を行うことを前提に応急処置等を行う医療機関も含む。
- 2 本リストに掲載の病院であっても、曜日、時間帯、医師が手術中である場合等、搬送できない場合があるので、あらかじめ体制等を確認する等、留意すること。
- 3 多様な疾病を含む、症状に応じた分類であり、診断結果、或いはIV観察基準2の別表「重症度緊急度判断指標」の一部の症状等により根治治療等対応が困難で、転院搬送が必要となる場合がある。
- 4 本リストは、救急隊による搬送先病院が、より円滑に決定されることを目的とするものであり、本リストに掲載されていない病院への照会並びに救急搬送を妨げない。

症状等分類	対応医療機関
①外傷	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、玉造厚生年金病院
②熱傷	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
③中毒	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
④意識障害	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
⑤胸痛	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
⑥呼吸困難	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
⑦消化管出血	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
⑧腹痛	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
⑨周産期	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院
⑩乳幼児	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院
⑪脳卒中疑い	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院
⑫重篤	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院

症状等分類	対応医療機関
①外傷	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
②熱傷	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
③中毒	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
④意識障害	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑤胸痛	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑥呼吸困難	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑦消化管出血	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑧腹痛	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑨周産期	松江赤十字病院、松江市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑩乳幼児	松江赤十字病院、松江市立病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑪脳卒中疑い	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院
⑫重篤	松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、松江記念病院、安来市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院

症状等分類	対応医療機関
①外傷	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、玉造厚生年金病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
②熱傷	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院 県立中央病院、出雲徳洲会病院
③中毒	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
④意識障害	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、平成記念病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
⑤胸痛	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、平成記念病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
⑥呼吸困難	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、平成記念病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
⑦消化管出血	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、平成記念病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
⑧腹痛	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、平成記念病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
⑨周産期	町立奥出雲病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院
⑩乳幼児	雲南市立病院、町立奥出雲病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院 県立中央病院、出雲徳洲会病院

症状等分類	対応医療機関
⑪脳卒中疑い	雲南市立病院、町立奥出雲病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院 出雲徳洲会病院
⑫重篤	雲南市立病院、町立奥出雲病院、町立飯南病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院

症状等分類	対応医療機関
①外傷	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、 出雲徳洲会病院
②熱傷	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲市立総合医療センター、出雲徳洲会病院
③中毒	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲市立総合医療センター、出雲徳洲会病院
④意識障害	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、 出雲徳洲会病院
⑤胸痛	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲徳洲会病院
⑥呼吸困難	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、 出雲徳洲会病院
⑦消化管出血	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、 出雲徳洲会病院
⑧腹痛	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、 出雲徳洲会病院
⑨周産期	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲徳洲会病院
⑩乳幼児	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲徳洲会病院
⑪脳卒中疑い	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲市民病院、 出雲徳洲会病院
⑫重篤	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、 出雲徳洲会病院

症状等分類	対応医療機関
①外傷	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲市民病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
②熱傷	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
③中毒	大田市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
④意識障害	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑤胸痛	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑥呼吸困難	大田市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑦消化管出血	島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑧腹痛	大田市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑨周産期	大田市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑩乳幼児	大田市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑪脳卒中疑い	大田市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院
⑫重篤	大田市立病院、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲徳洲会病院、国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院

症状等分類	対応医療機関
①外傷	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、公立邑智病院
②熱傷	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、公立邑智病院
③中毒	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、大田市立病院、公立邑智病院
④意識障害	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、公立邑智病院
⑤胸痛	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、公立邑智病院
⑥呼吸困難	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、大田市立病院、公立邑智病院
⑦消化管出血	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、公立邑智病院
⑧腹痛	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、大田市立病院、公立邑智病院
⑨周産期	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、大田市立病院、公立邑智病院
⑩乳幼児	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、大田市立病院、公立邑智病院
⑪脳卒中疑い	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、大田市立病院、公立邑智病院
⑫重篤	国立病院機構浜田医療センター、済生会江津総合病院、大田市立病院、公立邑智病院

症状等分類	対応医療機関
①外傷	国立病院機構浜田医療センター
②熱傷	国立病院機構浜田医療センター
③中毒	国立病院機構浜田医療センター
④意識障害	国立病院機構浜田医療センター
⑤胸痛	国立病院機構浜田医療センター
⑥呼吸困難	国立病院機構浜田医療センター
⑦消化管出血	国立病院機構浜田医療センター
⑧腹痛	国立病院機構浜田医療センター
⑨周産期	国立病院機構浜田医療センター
⑩乳幼児	国立病院機構浜田医療センター
⑪脳卒中疑い	国立病院機構浜田医療センター
⑫重篤	国立病院機構浜田医療センター

症状等分類	対応医療機関
①外傷	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
②熱傷	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
③中毒	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
④意識障害	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
⑤胸痛	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
⑥呼吸困難	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
⑦消化管出血	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
⑧腹痛	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
⑨周産期	益田赤十字病院
⑩乳幼児	益田赤十字病院、六日市病院
⑪脳卒中疑い	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院
⑫重篤	益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、六日市病院

症状等分類	対応医療機関
①外傷	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
②熱傷	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
③中毒	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
④意識障害	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑤胸痛	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑥呼吸困難	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑦消化管出血	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑧腹痛	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑨周産期	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑩乳幼児	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑪脳卒中疑い	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院
⑫重篤	隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院

#### IV 観察基準(消防法第35条の5第2項第3号)

- 1 この基準は、救急隊が傷病者の症状等を観察するためのものである。
- 2 傷病者の症状等に応じた重傷度・緊急度を判断する指標として、Ⅱの医療機関の分類基準に定める各症状等分類毎に別表のとおり重症度緊急度判断指標を定める。
- 3 救急救命士を含む救急隊員は、「救急隊員の行う応急処置等の基準」(昭和53年7月1日消防庁告示第2号)第5条各項の規定に基づいた傷病者の観察等、傷病者の状況に関する総合的な観察を行い、重症度緊急度判断指標の各評価項目を参照し重傷度・緊急度を判断する。
- 4 重症度緊急度判断指標を参照する際は、外傷においては①生理学的評価②解剖学的評価③受傷機転の順に、それ以外の症状等においては①生理学的評価②症状等別評価の順に評価する。
- 5 防ぎうる死亡をなくすため、傷病者の状況からオーバートリアージをすることは許容される。
- 6 傷病者への接触時の観察以降も、必要に応じてバイタルサインの変動、病態の再評価等継続観察を実施する。

## V 選定基準(消防法第35条の5第2項第4号)

### 1 医療機関選定の基本的考え方

救急隊による搬送先医療機関の選定は、傷病者の観察（「IV観察基準」による観察）の結果、当該重症以上傷病者について、医療機関リスト（Ⅲ医療機関リスト）の傷病者の症状等に応じた医療機関のうち、搬送時間の短いものから選定することを基本とする。

### 2 転院搬送を念頭においた搬送

転院搬送（ヘリコプターも含む。）を念頭に、当該傷病者の応急処置、初期治療を目的として近隣の病院へ搬送することも考慮する。

### 3 継続治療中の疾病がある場合等の搬送

傷病者にかかりつけがある場合は、かかりつけについても考慮する。

判断に迷う場合は、島根県救急業務高度化推進協議会で認定された指示指導医師に相談する。

## VI 伝達基準(消防法第35条の5第2項第5号)

### 1 伝達する側(消防機関)と受ける側(医療機関)について

#### (1) 伝達する側(消防機関)

傷病者の状況を伝達する消防機関側は、救急隊の救急救命士又は救急救命士が同乗していない場合は救急隊の責任者が、医療機関へ伝達するよう努めるものとする。

ただし、救急救命士、救急隊の責任者が処置中等で医療機関と直接会話できない場合にあっては、救急救命士、救急隊の責任者の管理下で他の救急隊員が情報伝達できるものとする。

なお、通信司令部局を介して医療機関へ伝達する場合における救急隊から通信司令部局への伝達においても同様とする。

#### (2) 受ける側(医療機関)

傷病者の状態の伝達をうける医療機関側は、受け入れの判断を行える医師等が直接対応するよう努めるものとする。

### 2 消防機関が医療機関に伝達する事項

Ⅲ医療機関リストの中から当該医療機関を選択した根拠(症状等)に主眼をおいた説明とし、傷病者の状態に応じて必要な事項を簡潔にまとめて伝達するものとする。

また、伝達基準に定めたものだけを伝達すれば良いというのではなく、現場の実情に応じて必要な情報を伝達すること。

#### (伝達事項)

- (1) 傷病者の年齢・性別
- (2) 現場到着時の状況(受傷機転・原因)
- (3) 傷病者の主訴・主症状(身体所見)
- (4) 発症(発生)時刻
- (5) バイタルサイン等の観察結果(状況に応じ経過報告)
- (6) 救急隊員による応急処置の内容
- (7) 既往症
- (8) 手術歴
- (9) 内服薬
- (10) アレルギー
- (11) 最終食事時間
- (12) 医療機関到着までの所要時間
- (13) その他必要と思われる事項

## Ⅶ 受入医療機関確保基準(消防法第35条の5第2項第6号)

1 傷病者の状態に適応する近隣の医療機関の選定が困難な場合（担当医が不在等）は、基本的に、医療機関の応諾が得られるまで医療機関リストに掲載された医療機関に照会する。

なお、ヘリコプターによる搬送も考慮する。

2 精神科医療を必要とする方の搬送に苦慮する場合は、次表の島根県精神科救急情報センターに相談する。

### 【島根県精神科救急情報センター】

窓口	電話番号	開設時間
松江保健所	0852-23-1316	平日 8:30 ~ 17:15
雲南保健所	0854-42-9642	平日 8:30 ~ 17:15
出雲保健所	0853-21-1653	平日 8:30 ~ 17:15
県央保健所	0854-82-9812	平日 8:30 ~ 17:15
浜田保健所	0855-29-5550	平日 8:30 ~ 17:15
益田保健所	0856-31-9545	平日 8:30 ~ 17:15
隠岐保健所（島後）	08512-2-9710	平日 8:30 ~ 17:15
隠岐保健所（島前）	08514-7-8080	平日 8:30 ~ 17:15
島根県立こころの医療センター	0853-30-2100	休日 8:30 ~ 17:15 夜間 17:15 ~ 8:30

## VIII その他基準(消防法第35条の5第2項第7号)

### 1 ドクターヘリ要請基準

#### I 総論

- 生命の危険が切迫しているか、その可能性が疑われるとき
- 重症患者であって搬送に長時間を要することが予想される時
- 特殊救急疾患の患者（重症熱傷・多発外傷・指肢切断等）で搬送時間の短縮を特に図るとき
- 救急現場で緊急診断処置に医師を必要とする時

#### (注) Over Triageの容認

消防機関等は、出動要請に救急患者が比較的軽症であることが判明した場合(over-triage)には、ドクターヘリの出動をキャンセルできるものとし、その際、出動要請した者の責任は問わないこととする。

#### II 各論

- ドクターヘリ搬送の対象となる傷病者の具体的状態の例
- ドクターヘリ搬送対象の具体的な例を示したものであって、対象はこれ等に限定されるわけではない。地域性や事後検証結果などを踏まえ適切に運用されることが望ましい。
- 現場救急と転院搬送に分かれる。

### 1 救急現場への運航

- 1) 覚知内容からドクターヘリを要請した方が良いと消防職員が判断する場合（救急隊出動中を含む）。原則は119番内容による下記のkey word方式（同時要請）とする。

#### (1) 外傷

- ①自動車事故
  - ・ 閉じ込められている 横転している 車外放出された
  - ・ 車体が大きく変形している
  - ・ 歩行者、自転車が自動車にはねとばされた
- ②オートバイ事故
  - ・ 法定速度以上（かなりのスピード）で衝突した
  - ・ 運転者がオートバイから放り出された
- ③転落墜落
  - ・ 3階以上の高さから落ちた 山間部での滑落
- ④窒息事故
  - ・ 溺れている
  - ・ 窒息している
  - ・ 生き埋めになっている
- ⑤各種事故
  - ・ 列車、バス、航空機、船舶、爆発、落雷

- ⑥ 傷害事件  
・ 撃たれた 刺された 殴られて意識が悪い

**(2) 呼吸循環不全**

- ① 40歳以上の胸痛または背部痛（胸背部に関する痛みすべて）  
② 呼吸困難  
③ 息が苦しい  
④ 息ができない

**(3) 心呼吸停止**

- ① 人が突然倒れた  
② 呼びかけても反応がない  
③ 意識がない  
④ 呼吸をしていない  
⑤ 脈が触れない など

**(4) その他**

- ① 血栓溶解療法の適応と思われる症例  
・ 手足が急に動かなくなった  
・ 反応が急になくなった  
・ 呂律が急に回らなくなった など  
② 多数傷病者症例（5名以上）

**2) 救急隊到着時、ドクターヘリを要請した方が良いと救急救命士あるいは救急隊員が判断する場合**

**A 外因性疾患**

**(1) 外傷**

- ① 初期評価の異常（JPTECに準拠する）（注：意識障害はJCS 20以上）  
② 全身観察の異常（JPTECに準拠する）  
③ 穿通性外傷（刺創、銃創）  
④ 切断指肢  
⑤ 意識障害を伴う電撃症

**(2) 熱傷**

- ① 体表面積10%以上にわたる熱傷（小児、高齢者は5%以上）  
② 気道熱傷（意識障害、顔面熱傷、閉鎖空間での受傷など）  
③ 化学熱傷  
④ 外傷を伴う熱傷（爆発による受傷など）

**(3) 溺水、窒息**

**(4) 急性中毒**

**(5) アナフィラキシーショック**

**(6) 環境障害**

- ① 減圧症  
② 偶発性低体温症  
③ 熱中症 など

## B 内因性疾患

### (1) 呼吸循環不全

- ①病院搬送までに気道、呼吸（低酸素）、循環が保たれず、心停止の危険があると判断する場合。
- ②気管挿管、輸液、薬剤投与が必要と判断する場合。

（例）喘息重積発作、急性心不全、急性心筋梗塞、急性大動脈解離、  
消化管出血（吐下血） など

### (2) 意識障害（JCS 2 0 以上）、痙攣、強い頭痛（脳卒中など）

### (3) 心呼吸停止

- ①救急隊現着後にCPAに陥った例（救急隊による目撃CPA）
- ②救急隊現着時CPAで、現場にて心拍再開した例
- ③初期波形VFあるいはPEAである例
- ④オンラインMCにて指示医師がドクターヘリ適応と判断した例

### (4) その他

- ①緊急手術を要する可能性のある疾患（急性腹症、頭蓋内疾患など）
- ②血栓溶解療法適応の可能性のある脳卒中例

## C その他

### (1) 周産期救急疾患

### (2) その他現場にて重篤と判断されたもの

### (3) オンラインMCにて指示医師からドクターヘリ搬送を指示されたもの

### (4) 多数傷病者症例（5名以上）

## 2 転院搬送の運航の場合

### (1) 要請判定基準

要請元の医師が、ドクターヘリによる搬送が必要であると判断した場合。

### (2) 出動要請者

搬送元医療機関を所轄する消防機関

### (3) ドクターヘリの出動

基地病院が必要性を最終判断

2 実施基準については必要に応じ見直しを行うものとする。

(1) 生理学的評価(第1段階)

成人	意識	<input type="checkbox"/> J C S 100 以上
	呼吸	<input type="checkbox"/> 10 回/分未満 または 30 回/分以上 <input type="checkbox"/> 呼吸音の左右差 <input type="checkbox"/> 異常呼吸
	脈拍	<input type="checkbox"/> 120 回/分以上 または 50 回/分未満
	血圧	<input type="checkbox"/> 収縮期血圧 90mmHg 未満 または 200mmHg 以上
	S p O <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> 90 % 未満
	その他	<input type="checkbox"/> ショック症状
新生児 (生後 2 8 日未 満)	意識	<input type="checkbox"/> J C S 100 以上
	呼吸	<input type="checkbox"/> 30 回/分未満 または 50 回/分以上 <input type="checkbox"/> 呼吸音の左右差 <input type="checkbox"/> 異常呼吸
	脈拍	<input type="checkbox"/> 150 回/分以上 または 100 回/分未満
	血圧	<input type="checkbox"/> 収縮期血圧 70mmHg 未満
	S p O <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> 90 % 未満
	その他	<input type="checkbox"/> ショック症状 <input type="checkbox"/> 出生後 5 分以上のアプガースコア 7 点以下
乳児 (生後 2 8 日 ~ 1 歳未満)	意識	<input type="checkbox"/> J C S 100 以上
	呼吸	<input type="checkbox"/> 20 回/分未満 または 30 回/分以上 <input type="checkbox"/> 呼吸音の左右差 <input type="checkbox"/> 異常呼吸
	脈拍	<input type="checkbox"/> 120 回/分以上 または 80 回/分未満
	血圧	<input type="checkbox"/> 収縮期血圧 80mmHg 未満
	S p O <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> 90 % 未満
	その他	<input type="checkbox"/> ショック症状
幼児(1 歳 ~ 6 歳未満)	意識	<input type="checkbox"/> J C S 100 以上
	呼吸	<input type="checkbox"/> 20 回/分未満 または 30 回/分以上 <input type="checkbox"/> 呼吸音の左右差 <input type="checkbox"/> 異常呼吸
	脈拍	<input type="checkbox"/> 110 回/分以上 または 60 回/分未満
	血圧	<input type="checkbox"/> 収縮期血圧 80mmHg 未満 または 200mmHg 以上
	S p O <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> 90 % 未満
	その他	<input type="checkbox"/> ショック症状

注 1) 乳幼児の体動が著しい場合、乳幼児が号泣している場合等で、各項目の測定が困難な場合は、第 2 段階の症状等に示されている項目を優先して観察する。

注 2) ドクターヘリ要請基準において、意識評価は J C S 20 以上であることに留意すること。

## (2) 症状等別評価項目(第2段階)

① 外傷		
解剖学的評価 (第2段階)	<input type="checkbox"/> 顔面骨骨折 <input type="checkbox"/> 頸部または胸部の皮下気腫 <input type="checkbox"/> 外頸静脈の著しい怒張 <input type="checkbox"/> 胸部の動揺、フレイルチェスト <input type="checkbox"/> 腹部膨隆、腹膜緊張 <input type="checkbox"/> 四肢切断 <input type="checkbox"/> 骨盤骨折(骨盤の動揺、圧痛、下肢長差) <input type="checkbox"/> 両大腿骨骨折(大腿の変形、出血、腫張、圧痛、下肢長差)	<input type="checkbox"/> 頭部、胸部、腹部、頸部または鼠径への穿痛性外傷(刺創、銃創、杖創など) <input type="checkbox"/> 15%以上の熱傷を複合している外傷、顔面または気道の熱傷 <input type="checkbox"/> デグロービング損傷 <input type="checkbox"/> 多指切断(例えば手指2本、足指3本) <input type="checkbox"/> 四肢の麻痺
受傷機転 (第3段階)	<input type="checkbox"/> 同乗者の死亡 <input type="checkbox"/> 車から放り出された <input type="checkbox"/> 車に轢かれた <input type="checkbox"/> 5m以上はね飛ばされた <input type="checkbox"/> 車が高度に損傷している <input type="checkbox"/> 救出に20分以上要した	<input type="checkbox"/> 車の横転 <input type="checkbox"/> 転倒したバイクと運転者の距離:大 <input type="checkbox"/> 自動車が行歩者・自転車に衝突 <input type="checkbox"/> 機械器具に巻き込まれた <input type="checkbox"/> 体幹部が挟まれた <input type="checkbox"/> 高所墜落
留意点 (その他)	<p>以下の項目に該当している場合は、第1段階から第3段階までの項目に該当していても、重症以上となる可能性がある。搬送病院の選定に苦慮する場合は医師の助言・指導を受ける。</p> <input type="checkbox"/> 小児または高齢者 <input type="checkbox"/> 心疾患または呼吸器疾患の既往 <input type="checkbox"/> 糖尿病(特にインスリン使用中) <input type="checkbox"/> 薬物中毒 <input type="checkbox"/> 病的肥満 <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 出血性疾患 <input type="checkbox"/> 抗凝固薬服用中 <input type="checkbox"/> 肝硬変 <input type="checkbox"/> 透析患者 <input type="checkbox"/> 悪性腫瘍	
② 熱傷	<input type="checkbox"/> II度熱傷 20%以上 (小児・高齢者 10%以上) <input type="checkbox"/> III度熱傷 10%以上 (小児・高齢者 5%以上) <input type="checkbox"/> 化学熱傷	<input type="checkbox"/> 気道熱傷 <input type="checkbox"/> 顔、手、足、陰部、関節の熱傷 <input type="checkbox"/> 他の外傷を合併する熱傷 <input type="checkbox"/> 電撃傷
③ 中毒	<input type="checkbox"/> 毒物摂取 <input type="checkbox"/> 医薬品(少量の眠剤、抗精神薬を除く) <input type="checkbox"/> 工業薬品(強酸、強アルカリ、石油製品、青酸化合物) <input type="checkbox"/> 覚醒剤、麻薬	<input type="checkbox"/> 毒性のある食物 <input type="checkbox"/> 農薬 <input type="checkbox"/> 家庭用品(防虫剤、殺鼠剤等) <input type="checkbox"/> 有毒ガス <input type="checkbox"/> 何を飲んだか不明のもの
④ 意識障害	<input type="checkbox"/> 進行性の意識障害 <input type="checkbox"/> 痙攣重積(30分以上) <input type="checkbox"/> 高度脱水 <input type="checkbox"/> 項部硬直	<input type="checkbox"/> 頭痛、嘔吐 <input type="checkbox"/> 低酸素環境 <input type="checkbox"/> 高温/低温環境
⑤ 胸痛	<input type="checkbox"/> チアノーゼ <input type="checkbox"/> 20分以上の胸部痛、絞扼痛 <input type="checkbox"/> 心電図上のST-Tの変化	<input type="checkbox"/> 心電図上の不整脈 (多源性/多発性/連発/PVC、RonT、心室性頻拍等) <input type="checkbox"/> 血圧の左右差
⑥ 呼吸困難	<input type="checkbox"/> チアノーゼ <input type="checkbox"/> 起坐呼吸 <input type="checkbox"/> 著明な喘鳴 <input type="checkbox"/> 努力呼吸 <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 喀血(概ね100ml以上)	<input type="checkbox"/> 著明な浮腫 <input type="checkbox"/> 広範囲湿性ラ音・乾性ラ音 <input type="checkbox"/> 喘息発作(声を出せないもの) <input type="checkbox"/> 腎不全の人工透析治療中 <input type="checkbox"/> 心筋梗塞、弁膜症、心筋症の治療中
⑦ 消化管出血	<input type="checkbox"/> 肝硬変 <input type="checkbox"/> 腹膜刺激症状 <input type="checkbox"/> 頻回の嘔吐	<input type="checkbox"/> 腹膜緊張 <input type="checkbox"/> 高度貧血症

⑧ 腹痛	<input type="checkbox"/> 腹壁緊張または圧痛 <input type="checkbox"/> 腹膜刺激症状 <input type="checkbox"/> グル音消失 <input type="checkbox"/> 妊娠の可能性あるいは人工妊娠中後 <input type="checkbox"/> 高度貧血	<input type="checkbox"/> 腹部の異常膨隆 <input type="checkbox"/> 頻回の嘔吐 <input type="checkbox"/> 有響性金属製グル音 <input type="checkbox"/> 高度脱水 <input type="checkbox"/> 吐血、下血
⑨ 周産期	<input type="checkbox"/> 大量の性器出血 <input type="checkbox"/> 腹部激痛 <input type="checkbox"/> 腹膜刺激症状 <input type="checkbox"/> 異常分娩 <input type="checkbox"/> 呼吸困難 <input type="checkbox"/> チアノーゼ <input type="checkbox"/> 痙攣 <input type="checkbox"/> 未受診	<input type="checkbox"/> 出血傾向 <input type="checkbox"/> 血液が固まらない <input type="checkbox"/> 注射部位からの出血 <input type="checkbox"/> 紫斑 等 <input type="checkbox"/> 子癇前駆症状 ① 中枢神経症状(激しい頭痛、めまい) ② 消化器症状(激しい上腹部痛、激しい嘔気、嘔吐) ③ 眼症状(眼がちかちかする、視力障害、野障害)
⑩ 新生児・乳児・幼児	<input type="checkbox"/> ぐったり、または、うつろ <input type="checkbox"/> 異常な不機嫌 <input type="checkbox"/> 異常な興奮 <input type="checkbox"/> 妊娠36週未満の新生児 <input type="checkbox"/> 頻回の嘔吐あるいは胆汁性の嘔吐	<input type="checkbox"/> 出血傾向(血液が固まらない、注射部位からの出血、紫斑 等) <input type="checkbox"/> 高度の黄疸 <input type="checkbox"/> 脱水症状(皮膚乾燥、弾力なし) <input type="checkbox"/> 瞳孔異常(散瞳、縮瞳) <input type="checkbox"/> 痙攣の持続
⑪ 脳卒中疑い	次頁記載	
⑫ 重篤	<input type="checkbox"/> 心・呼吸の「停止」 <input type="checkbox"/> 心・呼吸の「停止のおそれ」 <input type="checkbox"/> 「心肺蘇生」をおこなったもの	

# ⑪脳卒中

シンシナティ病院前脳卒中スケール(CPSS)、倉敷病院前脳卒中スケール(KPSS)を用い、島根県救急業務高度化推進協議会で定めた、脳卒中プロトコル、脳卒中留意事項により観察。

シンシナティ病院前脳卒中スケール(CPSS)

解釈:3つの症候のうち1つでもあれば、脳卒中の可能性は72%である

顔のゆがみ	講を見せるように、あるいは笑ってもらう
	正常 顔面が左右対称 異常 片側が他側のように動かない。図では右顔面が麻痺している
	
上肢挙上	閉眼させ、10秒間上肢を挙上させる
	正常 両側とも同様に挙上、あるいは全く挙がらない 異常 一側が挙がらない、または他側に比較して挙がらない
	
構音障害 (患者に話をさせる)	患者に話をさせる
	正常 滞りなく正確に話せる 異常 不明瞭な言葉、間違った言葉、あるいは全く話せない

倉敷病院前脳卒中スケール(KPSS)

全障害は13点

意識水準	完全覚醒	0点
	刺激すると覚醒する	1点
	完全に無反応	2点
意識障害	患者の名前を聞く	
	<input type="radio"/> 正解 0点 <input type="radio"/> 不正解 1点	
運動麻痺	患者に目を閉じて、両手掌を下にして両腕を伸ばすように 口頭、身ぶり手ぶり、パントマイムで指示	
	<input type="radio"/> 左右の両腕は平行に伸ばし、動かずに保持できる	右手 0点 左手 0点
	<input type="radio"/> 手を挙上するが、保持できず下垂する	1点 1点
	<input type="radio"/> 手を挙上することができない	2点 2点
	患者に目を閉じて、両下肢をベッドから挙上するように 口頭、身ぶり手ぶり、パントマイムで指示	
	<input type="radio"/> 左右の両下肢は動揺せず保持できる	右手 0点 左手 0点
<input type="radio"/> 下肢を挙上できるが、保持できず下垂する	1点 1点	
<input type="radio"/> 下肢を挙上することができない	2点 2点	
言語	患者に「今日はいい天気です」を繰り返して言うように指示	
	<input type="radio"/> はっきりと正確に言える	0点
	<input type="radio"/> 言語は不明瞭(ろれつが回っていない)、もしくは、異常 <input type="radio"/> 無言。黙っている。言葉が理解できない。	1点 2点
計		点

[参考]チェック項目のリスト化:出雲急性期脳卒中病院前診断チェックリスト(Izumo Pre-hospital Apoplexy Scale:IPAS)

[別紙3]	
<b>出雲急性期脳卒中病院前診断チェックリスト</b>	
(Izumo Pre-hospital Apoplexy Scale:IPAS)	
病院名: <input type="checkbox"/>	病院到着日時: 平成 年 月 日 時 分
氏名: (カナ: ) 年齢: <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 利き手: <input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左 <input type="checkbox"/> 両手利き <input type="checkbox"/> 不明	
発症日時: 平成 年 月 日 時 分頃 <input type="checkbox"/> 家族がおかしいと気付いた時刻 <input type="checkbox"/> 最後に元気であった時刻 <input type="checkbox"/> 症状が出現した時刻	
発症様式: <input type="checkbox"/> 突然の発症 <input type="checkbox"/> 突然の発症ではない 発症後時間 <input type="checkbox"/> 2時間以内 <input type="checkbox"/> 2~3時間 <input type="checkbox"/> 3~6時間 <input type="checkbox"/> 6~12時間 <input type="checkbox"/> 12時間以上 <input type="checkbox"/> 不明	
症状【1)~4)はKrashiki Prehospital Stroke Scale (KPSS) 項目、(C)はCincinnati Prehospital Stroke Scale (CPSS) 項目	
1) 意識水準: <input type="checkbox"/> 覚醒(JCS 0-1) [0点] <input type="checkbox"/> 刺激すると覚醒(JCS II) [1点] <input type="checkbox"/> 無反応(刺激で覚醒せず)(JCS III) [2点]	
(C) 顔面麻痺: <input type="checkbox"/> 顔面が均等に動く [0点] <input type="checkbox"/> 顔面が非対称 [1点] ※患者に歯を見せるように指示	
2) 意識障害: <input type="checkbox"/> 言える(正解) [0点] <input type="checkbox"/> 言えない(不正解) [1点] ※患者の名前を聞く	
3) (C) 運動麻痺 ※患者に目を閉じて両手(両下肢)を伸ばして挙上するよう指示	
(右上肢) <input type="checkbox"/> 挙上して保持できる [0点] <input type="checkbox"/> 挙上できるが保持できず [1点] <input type="checkbox"/> 挙上できない [2点] (左上肢) <input type="checkbox"/> 挙上して保持できる [0点] <input type="checkbox"/> 挙上できるが保持できず [1点] <input type="checkbox"/> 挙上できない [2点] (右下肢) <input type="checkbox"/> 挙上して保持できる [0点] <input type="checkbox"/> 挙上できるが保持できず [1点] <input type="checkbox"/> 挙上できない [2点] (左下肢) <input type="checkbox"/> 挙上して保持できる [0点] <input type="checkbox"/> 挙上できるが保持できず [1点] <input type="checkbox"/> 挙上できない [2点]	
4) (C) 言語 <input type="checkbox"/> 正確に言える [0点] <input type="checkbox"/> 言語不明瞭又は異常 [1点] <input type="checkbox"/> 無言又は言語理解不可 [2点] ※「今日はいい天気です」と繰り返して言うように指示	
KPSS合計: 点	CPSS合計: 点
症状: <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 片側の手足の脱力 <input type="checkbox"/> 半身のしびれ <input type="checkbox"/> 言葉がうまく話せない <input type="checkbox"/> 物がみえにくい、二重に見える	
発症前の日常生活および基礎疾患等	
発症前の日常生活: <input type="checkbox"/> 自立(mRS 0-1) <input type="checkbox"/> ほぼ自立(mRS 2-3) <input type="checkbox"/> 半介助(mRS 4) <input type="checkbox"/> 寝たきり(mRS 5) <input type="checkbox"/> 不明	
心房細動: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明	ワーファリン服用: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明
高血圧: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 未治療 <input type="checkbox"/> 治療中 <input type="checkbox"/> 不明	
糖尿病: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 未治療 <input type="checkbox"/> 内服治療 <input type="checkbox"/> インスリン治療 <input type="checkbox"/> 不明	
脳卒中の既往: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明 (あり: )	てんかん・けいれんの既往: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 不明
他の合併症: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明 (あり: )	
体内の金属の有無: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 不明 (ありの場合は部位: )	
同伴の家族: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし (あり: )	病院前診断: <input type="checkbox"/> 脳梗塞 <input type="checkbox"/> 脳出血 <input type="checkbox"/> くも膜下出血 不明
: tPA投与の適応となる可能性あり mRS: modified Rankin Scale 記載日: 平成 年 月 日 記載者:	

策定の経過

平成23年6月14日

平成23年6月14日

策定  
施行